

特別講演会

東日本大震災に学び

これから日本の姿を考える

～強靭な国土づくりと北海道・地域の役割～

日 時 平成24年 4月13日(金)
15:00～17:30(14:30開場)
場 所 ホテル函館ロイヤル 函館市大森町16-9
TEL0138-26-8181
参加費 無 料 (要申込)

講演Ⅰ (15:00～15:40)

テーマ「仙台市災害復旧の現状と課題」

講師：深松 努 氏 (社)仙台建設業協会 副会長

講演Ⅱ (15:40～17:20)

テーマ「国土強靭化と北海道・地域の役割」

講師：藤井 聰 氏 京都大学大学院工学研究科教授

17:30 終了

主 催 (社)函館建設業協会

共 催 函館商工会議所

後 援 北海道渡島管内商工会連合会、北海道桧山管内商工会連合会、
(社)函館地方法人会、函館青色申告会、函館測量設計業協会、
道南地区生コンクリート協同組合連合会、函館地方電気工事協同組合、
函館建築工業協同組合、函館造園建設業協同組合、はこほ会、
函館商工会議所女性会、(社)函館地方法人会女性部会、
函館青色申告会女性部、函館商工会議所青年部、(社)函館青年会議所、
(社)函館地方法人会青年部会、函館青色申告会青年部、道南建設二世会、
(一財)函館国際水産・海洋都市推進機構、道南高速交通ネットワーク推進連絡協議会

Message メッセージ

昨年3月11日に起きた東日本大震災。これまで経験したことのない凄まじい被害をもたらし、日本全国の各地域に、今も様々な影響を及ぼし続けています。

被災地の早期復興を願うと共に、この大震災を教訓として次に迫り来る大災害等に備えるため、我が国や北海道、地域は何をなすべきか・・・。

今回、お二人の講師をお招きし、本テーマについて皆様と一緒に考えるとともに、道南地域、函館の将来について発信する機会としたいと思います。



Profile

講師 プロフィール

ふかまつ つとも
深松 努 氏

(社)仙台建設業協会 副会長

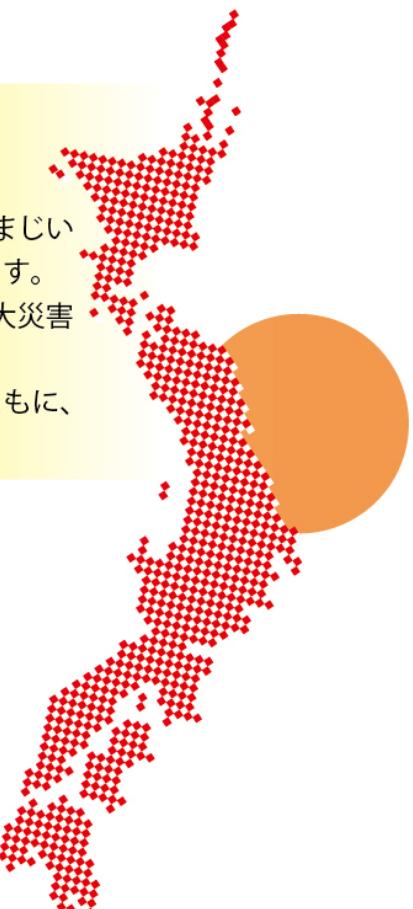
1965年富山県生まれ。日本大学理工学部土木工学科卒業。1992年(株)深松組入社、2006年東北建設業青年会会長、2008年(株)深松組社長。
2010年(社)仙台建設業協会副会長、同年(社)全国建設業協会広報戦略検討委員会 委員、2011年仙台市広瀬川創生プラン策定推進協議会 委員などを務める。



ふじい さとし
藤井 聰 氏

京都大学大学院工学研究科教授

1968年奈良県生まれ。京都大学土木工学科卒業、同大学助教授、2006年東京工業大学教授を経て2009年現職。著書「公共事業が日本を救う」「列島強靭化論」新著「救国のレジリエンス」など多数。
受賞 文部科学大臣表彰・若手科学者賞、日本学術振興会賞など多数。



参加申込書

講演会 「東日本大震災に学び これからの日本の姿を考える」

下記により、FAX・ハガキ・e-mailにてお申込み下さい。締切 **4月6日（金曜日）必着**

お名前	所 属	電話番号

お問い合わせ・お申込み先

(社)函館建設業協会 〒040-0034 函館市大森町19番6号
Tel 0138-26-6711 e-mail matsuzawa@kenkyo.hakodate.jp

FAX 0138-26-0964



コノクコアード事務局の
堤場は、4月が高齢化率
提長45歳、支社一帯が高
齢化率52歳、提長88歳など

【新規】新規申込233件、
審査中申込223件、
で中小企業で設立の制度

説明。函館市内の企業が
製作・商品化した「串刺し料理用具」など、その
支援制度の周知を図つた。

当社も、中小企業支援
機関がこれまでの取り組
みをアピールした。

恵庭市は13・14の両日、
北海道大演習場（島松地区）
に週辺の陸上自衛隊訓

示し、200~240年
工事を開始する方
年間で「新幹線や高速道
路で商業が活性化する。
住宅防音工事実施の前
提となる住民防音区域等
の発生確率の高さを示し
て交通インフラ整備によ
る被災状況や現況を説明
した上で、「がれきの撤去
に必要なアイアンフックや
クやその重機が不足した
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

性を説ぎ、加えて既存で

の「オーバーワークや不
明者捜索によるメンタル
面のケア」を訴えた。

藤井教授は、東海地震
の発生確率の高さを示し
て交通インフラ整備によ
る被災状況や現況を説明
した上で、「がれきの撤去
に必要なアイアンフックや
クやその重機が不足した
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

が語られた。

「函館市災害復旧の現
状と課題」と題して話す
了深松社長は、「難波江戸
よのく」を訴えた。

藤井教授は、東海地震

説明。

建設業者は救急救命医 大震災教訓に、仙台の深松組社長ら

2012年(平成24年)4月17日(火曜日)

協会建講函館特別演劇

函館支店が大会



【函館】仙台建設業組

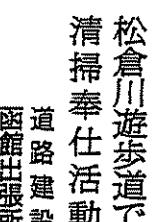
合組会長を務める深松組
(本社・仙台)の深松組
社長(52歳)、函館市内で
講演し、建設業者は普段
は「医師」、だが、東日本
大震災では、「救急救命
医」になつたとの経験談
を紹介した。同じく危機
した京大大学院の藤井聰
教授は、「巨大地震に備え
て、都市機能を移転せねば
にせば、新幹線などの交通
インフラ整備が極めて効
果的」と指摘を強調した。

函館支店長(53歳)、北斗市
講演(仙台・仙台)の深松組
社長(52歳)、函館市内で
講演し、建設業者は普段
は「医師」、だが、東日本
大震災では、「救急救命
医」になつたとの経験談
を紹介した。同じく危機
した京大大学院の藤井聰
教授は、「巨大地震に備え
て、都市機能を移転せねば
にせば、新幹線などの交通
インフラ整備が極めて効
果的」と指摘を強調した。

函館建設業組合(黒田
義治会長)が、ホテル函
館ロイヤルで開いた特別
講演会で述べたもの。会
場には市民の約400人
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

松倉川遊歩道で 清掃奉仕活動

函館市張所



環境基本計画策定へ

小樽市
2010年度に制定した小
樽市環境基本条例の理念
を表現するため、環境基
本環境の保全をめざす、
半期中にコンサルへ発注
する構えだ。

12年度は調査結果を踏
まへ、市民アンケートを
経て計画審議会を策定。14

年度に環境審議会の答申
を求める。回年度内に立案
約3~4年後、市民に

環境計画の公募を行
う。

条例では、自然環境や
人文環境の保全をめざす、
12年度は調査結果を踏
まへ、市民アンケートを
経て計画審議会を策定。14

年度に環境審議会の答申
を求める。回年度内に立案
約3~4年後、市民に

環境計画の公募を行
う。

工事は平均94.8%

後志総合振興局
工事は平均94.8%



【函館】道路建設(本
社・札幌)函館田張所は
14日、函館市内の松倉川
沿いで作業後の分間の清掃
活動や、意識確認の充実
による事故回避を求めた。

来賓の梅沢泰輔北海道函
館支店長は、資機
材の整理や入り口の駆除を
りなどの恒常的な実践を
呼び掛けた。

安芸美和也は、館臨電
気工業、株式会社工業、
島原業所、函館電力保守
社、貢金電業が同社や協力会
社、貢金町会、湯の川会
成を讃めた。左右真。

回支店のほか、江差、
福島、八雲の各営業所、

北海道大演習場(島松地区)
に近隣の陸上自衛隊訓

練による確認音を出し、
住宅防音工事実施の前
提となる住民防音区域等
の発生確率の高さを示し
て交通インフラ整備によ
る被災状況や現況を説明
した上で、「がれきの撤去
に必要なアイアンフックや
クやその重機が不足した
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

性を説ぎ、加えて既存で
の「オーバーワークや不
明者捜索によるメンタル
面のケア」を訴えた。

藤井教授は、東海地震
の発生確率の高さを示し
て交通インフラ整備によ
る被災状況や現況を説明
した上で、「がれきの撤去
に必要なアイアンフックや
クやその重機が不足した
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

性を説ぎ、加えて既存で

の「オーバーワークや不
明者捜索によるメンタル
面のケア」を訴えた。

機関は、環境計画を実施
いたが、砕石運搬
の調査などを踏まえ
て最初は、砕石運搬
線道路などを整備
を決定。演習場の砕
石堆積点がいるため
に、現在は、新規の
砕石堆積点を建設する
こととしている。

北海道大演習場(島松地区)
に近隣の陸上自衛隊訓

練による確認音を出し、
住宅防音工事実施の前
提となる住民防音区域等
の発生確率の高さを示し
て交通インフラ整備によ
る被災状況や現況を説明
した上で、「がれきの撤去
に必要なアイアンフックや
クやその重機が不足した
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

性を説ぎ、加えて既存で

の「オーバーワークや不
明者捜索によるメンタル
面のケア」を訴えた。

機関は、環境計画を実施
いたが、砕石運搬
の調査などを踏まえ
て最初は、砕石運搬
線道路などを整備
を決定。演習場の砕
石堆積点がいるため
に、現在は、新規の
砕石堆積点を建設する
こととしている。

北海道大演習場(島松地区)
に近隣の陸上自衛隊訓

練による確認音を出し、
住宅防音工事実施の前
提となる住民防音区域等
の発生確率の高さを示し
て交通インフラ整備によ
る被災状況や現況を説明
した上で、「がれきの撤去
に必要なアイアンフックや
クやその重機が不足した
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

性を説ぎ、加えて既存で

の「オーバーワークや不
明者捜索によるメンタル
面のケア」を訴えた。

機関は、環境計画を実施
いたが、砕石運搬
の調査などを踏まえ
て最初は、砕石運搬
線道路などを整備
を決定。演習場の砕
石堆積点がいるため
に、現在は、新規の
砕石堆積点を建設する
こととしている。

北海道大演習場(島松地区)
に近隣の陸上自衛隊訓

練による確認音を出し、
住宅防音工事実施の前
提となる住民防音区域等
の発生確率の高さを示し
て交通インフラ整備によ
る被災状況や現況を説明
した上で、「がれきの撤去
に必要なアイアンフックや
クやその重機が不足した
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

性を説ぎ、加えて既存で

の「オーバーワークや不
明者捜索によるメンタル
面のケア」を訴えた。

機関は、環境計画を実施
いたが、砕石運搬
の調査などを踏まえ
て最初は、砕石運搬
線道路などを整備
を決定。演習場の砕
石堆積点がいるため
に、現在は、新規の
砕石堆積点を建設する
こととしている。

北海道大演習場(島松地区)
に近隣の陸上自衛隊訓

練による確認音を出し、
住宅防音工事実施の前
提となる住民防音区域等
の発生確率の高さを示し
て交通インフラ整備によ
る被災状況や現況を説明
した上で、「がれきの撤去
に必要なアイアンフックや
クやその重機が不足した
が、一番困ったのがガソ
リンなどの燃料がなかなか
えなかつた」と、当時の
状況を紹介。説明として
「行政の透明一本化」と
「排水系統が迅速化した
(建設業) 機会」の必要

性を説ぎ、加えて既存で

の「オーバーワークや不
明者捜索によるメンタル
面のケア」を訴えた。

機関は、環境計画を実施
いたが、砕石運搬
の調査などを踏まえ
て最初は、砕石運搬
線道路などを整備
を決定。演習場の砕
石堆積点がいるため
に、現在は、新規の
砕石堆積点を建設する
こととしている。

北海道大演習場(島松地区)
に近隣の陸上自衛隊訓